

日本画像学会 2023年度 第66回定時総会

2023年6月28日(水)
13:00-13:50
千葉大学けやき会館 / Zoom

2023年度 定時総会 進行次第

(2023年6月28日(水) 13:00～13:50)

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 定足数の確認・報告、議長選出
4. 第1号議案:2023年度役員案(審議・承認) 中山
5. 第2号議案:2022年度事業報告(審議・承認) 中山
6. 第3号議案:2022年度決算案・監査結果(審議・承認) 加川・中居
7. 第4号議案:2023年度事業計画/財務計画/年間予定(報告) 中山・加川
8. 質疑応答
9. 閉会の辞

日本画像学会 第66回定時総会

2023年6月28日(水)13:00-13:50

- Zoomオンライン参加の方へのお願い
 - ✓ Zoomでの表示名を,「中山信行」,のように「姓名」に設定していただくようお願いいたします.
 - ✓ 参加記録のため,チャットに,ホスト宛てで,お名前の記載をお願いいたします.
 - ✓ 発言の際や議決の際は,Zoomの挙手ボタンを使用します.
 - ✓ 総会終了後13:50~14:10に表彰式をハイブリッド開催いたします. こちらも引き続いてご参加をお願いいたします.

2023年度 定時総会 進行次第

(2023年6月28日(水) 13:00～13:50)

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 定足数の確認・報告、議長選出
4. 第1号議案:2023年度役員案(審議・承認) 中山
5. 第2号議案:2022年度事業報告(審議・承認) 中山
6. 第3号議案:2022年度決算案・監査結果(審議・承認) 加川・中居
7. 第4号議案:2023年度事業計画/財務計画/年間予定(報告) 中山・加川
8. 質疑応答
9. 閉会の辞

2022年度のトピックス

- ICJ2022オンライン開催(6/22-24): 参加者182名
Zoom + バーチャル空間 oVice を導入して活性化を図る
一般 38件、キーノート・招待・受賞記念 11 件、合計 49件
- ICJ2022Fall 開催(11/21-22名古屋;ハイブリッド)
画像関連学会連合会の合同開催(画像学会関連参加者60名)
一般12 件、ポスター 5 件、特別・受賞記念 4 件、合計21 件
- 4DFF2022開催(10/13-14山形;ハイブリッド)
- 第3回複写機遺産認定3件

会員数の動向

	個人会員				法人会員	
年度	合計	正会員	学生会員	シニア会員	維持会員	口数
2022	705	595	37	56	67	158
2021	731	629	26	57	69	160
2020	802	710	23	53	69	161
2019	913	804	38	46	71	164
2018	913	817	37	38	72	165
2017	941	844	48	28	72	166
2016	927	841	50	13	67	160

2023年度の予定

- ICJ2023開催(6/28-30千葉大学;ハイブリッド)
コンセプト:画像が拓く豊かな共奏社会の創造
Satellite-ICAI(JSPS BAGIS Track)同時開催
- 技術講習会(7/3-7)
- ICJ2023Fall(画像関連学会連合会 秋季合同大会予定)
- 第4回複写機遺産認定(2月予定)
- 技術研究会、シンポジウム、Imaging Café、等

2023年度 定時総会 進行次第

(2023年6月28日(水) 13:00～13:50)

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 定足数の確認・報告、議長選出
4. 第1号議案:2023年度役員案(審議・承認) 中山
5. 第2号議案:2022年度事業報告(審議・承認) 中山
6. 第3号議案:2022年度決算案・監査結果(審議・承認) 加川・中居
7. 第4号議案:2023年度事業計画/財務計画/年間予定(報告) 中山・加川
8. 質疑応答
9. 閉会の辞

定足数と事前投票・本日出席者数の報告

①社員総会の会員数			617
定足数(①÷2)			309
回答結果			
②回答者数(③+④)			378
	③メール回答数		378
	④ハガキ回答数		0
回答内容			
	⑤総会出席者数		58
	⑥欠席者数(⑦+⑧)		320
		⑦議決者数	30
		⑧委任者数	290
回答率(②÷①)			61.3%

- ・既議決者数30＋委任者数290＋本日の出席者数58＝合計378名。
- ・本総会の出席者数は定足数を十分に満たしていることをご報告します。

2023年度 定時総会 進行次第

(2023年6月28日(水) 13:00～13:50)

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 定足数の確認・報告、議長選出
4. 第1号議案:2023年度役員案(審議・承認) 中山
5. 第2号議案:2022年度事業報告(審議・承認) 中山
6. 第3号議案:2022年度決算案・監査結果(審議・承認) 加川・中居
7. 第4号議案:2023年度事業計画/財務計画/年間予定(報告) 中山・加川
8. 質疑応答
9. 閉会の辞

第1号議案 : 役員の承認**(1/3)****第1号議案
2023年度役員候補****(1)2023年度の改選候補（任期:2023年6月－2025年6月まで）**

- *: 前任者任期が2023年度定時総会までのところ任期満了前に退任したため、2022年度から役員代理に就任中の新任候補、もしくは前任者が2023年度定時総会で任期を満了し退任するため新たに推薦された新任候補
- ** : 前任者任期が2024年度の定時総会までのところ、2022年度末までに退任したため、その任期を引き継ぐ新任候補
- 無印: 任期が2025年度定時総会までの役員候補(留任希望)

区分		氏 名		所 属
理事候補	1	小林 範久		千葉大学
	2	飯野 裕明		東京工業大学
	3	鈴木 健彦	*	キヤノン(株)
	4	北野 賀久		富士フイルム ビジネスイノベーション(株)
	5	木下 周三		三菱製紙(株)
	6	田中 作白		京セラドキュメントソリューションズ(株)
	7	岩田 基	**	大阪公立大学
	8	直井 宏夫		シャープ(株)
	9	中井 洋志		(株)リコー
	10	中山 信行		東京工芸大学
	11	橋詰 博徳	*	(株)ミマキエンジニアリング
	12	宮本 篤生		(株)巴川製紙所
監事候補	1	服部 好弘	**	コニカミノルタ(株)

第1号議案関連：役員の紹介 (2/3)

第1号議案
2023年度役員候補

(2)2022年度 非改選の役員 (任期:2021年6月ー2023年6月まで)

区分		氏 名		所 属
理事	13	佐藤 利文		東京工芸大学
	14	藤井 雅彦		慶應義塾大学
	15	新井 啓之		日本工業大学
	16	石本 文治		セイコーエプソン(株)
	17	梅津 信二郎		早稲田大学
	18	面谷 信		東京電機大学
	19	加川 哲哉		コニカミノルタ(株)
	20	木崎 宏恵		三菱ケミカル(株)
	21	坂口 雅敏		ブラザー工業(株)
	22	高橋 茂樹		山形大学
	23	寺尾 博年		アルプスアルパイン
	24	前田 秀一		東海大学
	25	三矢 輝章		東京情報デザイン専門職大学
	26	宮戸 健志		富士フイルム(株)
	27	渡辺 猛		東芝テック(株)
監事	2	中居 達		王子製紙(株)

第1号議案関連：その他の役員の紹介 (3/3)

<2022年度で退任された、あるいは2023年度総会をもって退任される理事・監事>

区分		氏 名		所 属
退任予定 役員	理事	秋山 勇治		キャノン(株)
	理事	内藤 裕義		大阪公立大学
	理事	河野 信明		キャノン(株)
	理事	八角 邦夫		(株)ミマキエンジニアリング
	理事	南 毅弘		王子ホールディングス(株)

<2023年度 幹事>

山崎 弘	山崎国際コンサルティング
宮本 栄一	京セラドキュメントソリューションズ(株)
朝武 敦	コニカミノルタ(株)
河野 信明	元キャノン(株)

<2023年度 顧問>

小門 宏	高橋恭介 (東海大学)
横山正明 (大阪大学)	田嶋紀雄 (コニカミノルタホールディングス(株))
高橋 通 (元キャノン(株))	北村孝司 (千葉大学)
平倉 浩治 (HiRAK、元(株)リコー)	

第1号議案 事前投票結果

第1号議案
2023年度役員候補

事前投票結果			
	第1号議案	第2号議案	第3号議案
賛成	30		
反対	0		

委任先	議長	287
	その他会員	3
	合計	290

2023年度 定時総会 進行次第

(2023年6月28日(水) 13:00～13:50)

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 定足数の確認・報告、議長選出
4. 第1号議案:2023年度役員案(審議・承認) 中山
5. **第2号議案:2022年度事業報告(審議・承認)** 中山
6. 第3号議案:2022年度決算案・監査結果(審議・承認) 加川・中居
7. 第4号議案:2023年度事業計画/財務計画/年間予定(報告) 中山・加川
8. 質疑応答
9. 閉会の辞

第2号議案 2022年度事業報告

第66回定時総会議案
2022年度事業報告をご参照ください

下記 5委員会はスライドにて活動報告をします。

- | | |
|---------------|---------|
| 1. 編集委員会 | (宮本幹事) |
| 2. 技術委員会 | (小林副会長) |
| 3. 企画委員会 | (中井理事) |
| 4. コンファレンス委員会 | (三矢理事) |
| 5. 事業委員会 | (木崎理事) |

3-1 編集委員会

2022年度活動実績

■委員会組織・活動（各種活動は基本的にオンライン化）

- ✓ 編集委員会6回開催，特集企画会議開催
- ✓ 学会誌企画・編集，校正，各種WG

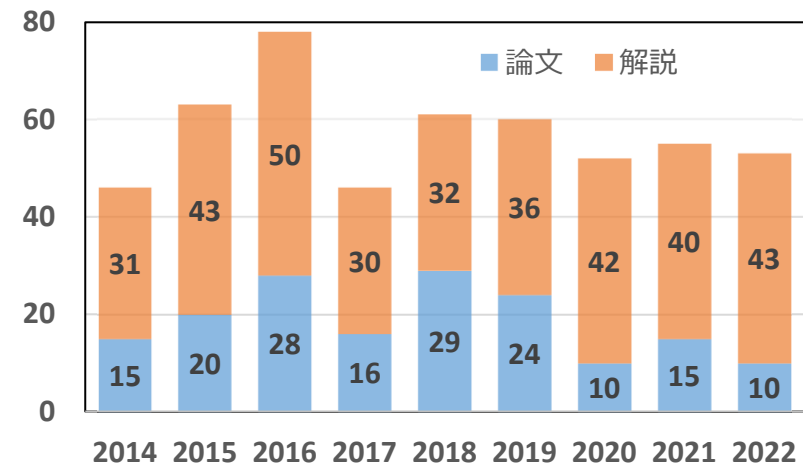
■学会誌

- ✓ 年6冊定時発行
- ✓ Special Topics（12月号）として
Medical Imaging Technology，英文解説7編を掲載

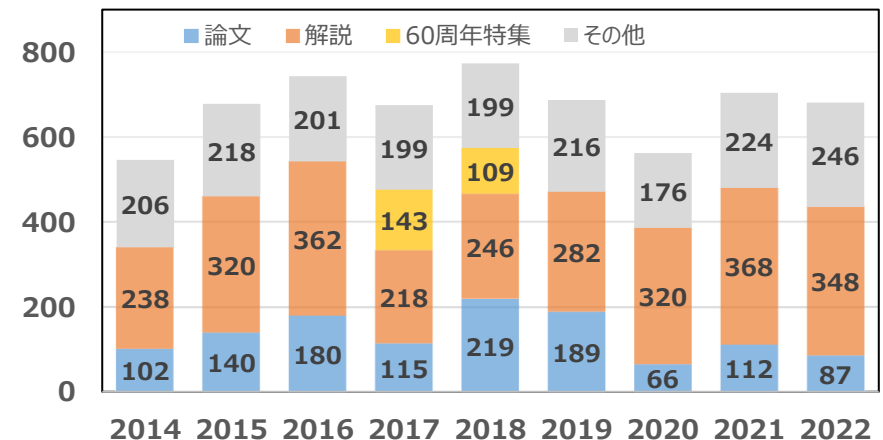
■その他の活動

- ✓ フリーターキング開催（オンライン）
 - ・第40回「高度化・多様化するシミュレーション技術最前線」，2022/9/30，72名
 - ・第41回「加飾技術」，2023/3/20
- ✓ 編集委員長賞選考・表彰
 - ・ICJ2022，ICJ2022 Fall
- ✓ 学会誌面面向上の取り組み
 - 技術・学術面と体裁・要件の2名査読者体制
 - 技術面の査読候補者の拡充実施
 - 査読マニュアルの改訂

掲載論文数と特集解説数の年度推移



年度ごとのページ数内訳



3-2 技術委員会 2022年度活動実績

各部会企画の研究会等 実績(2022年4月～2023年3月)

■体制

委員長:小林範久、副委員長:藤井雅彦・前田秀一

主査交代:電子ペーパー/フレキシブル部会(八代 徹⇒吉田 学)

■部会

新領域検討に向けたVision2030の見直し。他領域・学会との相互乗入れや共同開催の模索

■討議・交流

メール主査連絡・会議(8/30, 9/09, 10/21, 11/10)、総会(1/20:参加者58名)開催

■複写機遺産

第3回複写機遺産認定3機種認定式(6/22)・プレスリリース, 第4回募集(23/1/6締切)

■技術研究会

第152回(10/24)電子ペーパー/フレキシブル部会, 第153回(11/14)画像感性部会, 第154回(11/25)トナー部会, 第155回(23/1/27)電子写真技術部会, 第156回(23/3/10)MBD部会,

■技術講習会・シンポジウム

ICJ2022(online)(幹事会社制からの脱却・オーガナイズドセッション企画), 第86回技術講習会(Hybrid 7/4-8)、日本画像学会秋・技術講習会(Hybrid 12/12) 関東シンポジウム(Hybrid 12/2), 画像感性部会-視覚学会とのコラボ(online 全4回7/29-23/23)

■書籍

「画像処理」「有機半導体」の編集(出版社編集方針見直しによる遅延・再依頼)

■領布・販売

標準キャリア領布(トナー技術部会)

3. 企画委員会

2022年度活動実績

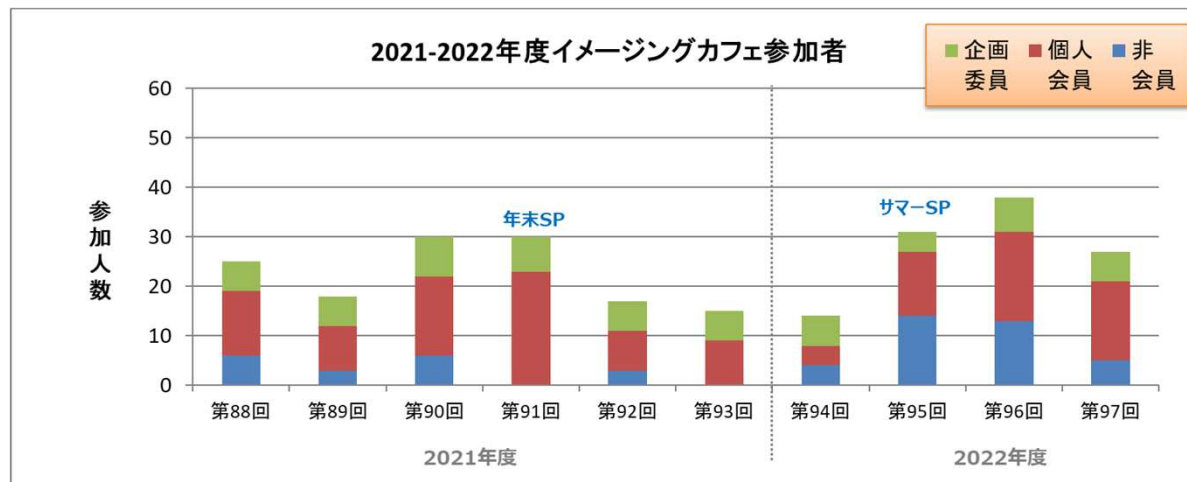
◆ イメージングカフェ

- 2022/4～2023/3の期間で計4回（累計97回）実施
- オンライン開催を基本としたが、第95回ではハイブリッド形式も試行
- 延べ参加者87名（会員51名/非会員36名） ※委員・講師含まず

◆ 2022年度関東シンポジウム

- 『イメージング技術の進化と広がり俯瞰する』～画像技術の源流から最新の潮流まで～と題し、2022/12/2にハイブリッド開催（参加者38名、うち現地11名）

イメージングカフェ参加人数推移



関東シンポジウムの様子



3-4 コンファレンス委員会

2022年度活動実績

■ 2022年 年次大会 (Imaging Conference JAPAN 2022:ICJ2022)

[日本画像学会研究討論会(第129回): 日本画像学会年次大会]

- ・ 画像が拓く豊かな共奏社会の創造 (Enriched Synergic Society Powered by Imaging) をスローガンに2022年6月22日～24日に開催した。(感染対策: 完全オンラインにて実施)
- ・ 学会実行委員制を初めて試行、体制根幹にかかわるクリティカルな課題はなかった。
- ・ キーノートに加え、新企画(特別企画): 花王和歌山工場内 エコラボミュージアムのオンライン見学会(ライブ配信)など、オンラインのメリットを発揮した。
- ・ 発表数48(目標50) 参加者数181(目標250) 高い目標を掲げたので満たさなかったが、例年に比較してもまずまずの結果。

3-5 事業委員会

2022年度活動実績

■ 活動報告

- **第86回技術講習会** 「困難に打ち克つための画像技術の基礎と応用」
日時：2022年7月4日、5日 [EP] 6日、7日 [IJ] 8日 [シミュレーション]
会場：ハイブリッド(対面+Zoom)開催（講師、事務局は「ユニコムさがみはら」で運営）
参加者数：78名(81)（ ）内は昨年実績
正会員・維持会員：69名※(72)、非会員：8名(7)、学生：2名(2)

※うち4名は応用講座のみ

<トピックス>

- ・参加人数は昨年同等
 - ・昨年Zoom開催だったシミュレーション講習を対面で実施
 - ・講習の有意性・満足度は良好な評価（アンケート結果より）
 - ・予稿集、講義資料の電子化、事前配信は好評
- **秋のチュートリアル** 「疑問・悩みにとことんお答えします」
日時：2022年12月21日
会場：対面+Zoomによる初のハイブリッド開催（Zoom参加者はカメラONで受講）
・ハイブリッド開催でチュートリアル講習が可能であることを検証



第2号議案 事前投票結果

第2号議案
2022年度事業報告

事前投票結果			
	第1号議案	第2号議案	第3号議案
賛成	30	30	
反対	0	0	

委任先	議長	287
	その他会員	3
	合計	290

2023年度 定時総会 進行次第

(2023年6月28日(水) 13:00～13:50)

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 定足数の確認・報告、議長選出
4. 第1号議案:2023年度役員案(審議・承認) 中山
5. 第2号議案:2022年度事業報告(審議・承認) 中山
6. 第3号議案:2022年度決算案・監査結果(審議・承認) 加川・中居
7. 第4号議案:2023年度事業計画/財務計画/年間予定(報告) 中山・加川
8. 質疑応答
9. 閉会の辞

2022年度 財務報告 (2022年度決算案)

財務委員会



2022年度決算報告

第3号議案
2022年度決算案・監査結果

収支概要

科目	当初予算	年度末決算額	差異(対予算)	増減
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
特定資産運用収入	2,500	587	-1,913	(-_-)
会費収入	18,450,000	17,838,561	-611,439	(>_<)
事業収入	8,760,000	10,221,710	1,461,710	(^0^)
受取利息収入	0	257	257	(-_-)
その他の事業活動収入	0	30,083	30,083	(^0^)
事業活動収入計	27,212,500	28,873,530	1,661,030	(^0^)
2. 事業活動支出				
事業費支出	14,120,000	14,456,649	336,649	(>_<)
管理費支出	12,010,000	12,020,519	10,519	(>_<)
法人税等	70,000	70,000	0	(-_-)
その他の事業活動支出	0	-2,790	-2,790	(-_-)
事業活動支出計	26,200,000	26,544,378	344,378	(>_<)
事業活動収支差額	1,012,500	2,329,152	1,316,652	(^0^)
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入	0	0	0	(-_-)
2. 投資活動支出	0	0	0	(-_-)
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入	0	0	0	(-_-)
2. 財務活動支出	0	0	0	(-_-)
IV 予備費支出	0	0	0	(-_-)
当期収支差額	1,012,500	2,329,152	1,316,652	(^0^)

2022年度決算報告

第3号議案
2022年度決算案・監査結果

事業活動収入詳細

科目	当初予算	年度末決算額	差異(対予算)	増減
1. 事業活動収入				
特定資産運用収入	2,500	587	-1,913	(-_-)
会費収入	18,450,000	17,838,561	-611,439	(>_<)
正会員会費収入 ①	5,600,000	4,870,679	-729,321	(>_<)
維持会員会費収入	12,800,000	12,710,522	-89,478	(>_<)
4 D F F 会費収入	50,000	257,360	207,360	(^0^)
事業収入	8,760,000	10,221,710	1,461,710	(^0^)
研討・研究会参加費	4,400,000	4,066,000	-334,000	(>_<)
講習会参加費 ②	1,800,000	2,092,000	292,000	(^0^)
試験標準品頒布収入 ③	1,500,000	2,950,410	1,450,410	(^0^)
予稿集・技術資料頒布収入	50,000	45,160	-4,840	(-_-)
出版物頒布収入	10,000	0	-10,000	(>_<)
会誌購読・BN頒布収入	500,000	738,140	238,140	(^0^)
広告収入	500,000	330,000	-170,000	(>_<)
雑収入	0	0	0	(-_-)
国際会議関係収入	0	0	0	(-_-)
4 D F F 研究会収入 ④	0	782,332	782,332	(^0^)
受取利息収入	0	257	257	(-_-)
その他の事業活動収入	0	30,083	30,083	(^0^)
事業活動収入計	27,212,500			

①会費収入82万円減

②講習会参加費収入29万円増 回復傾向

③試験標準品頒布145万円増 テストチャート

④4DFF 参加費36万円増

2022年度決算報告

第3号議案
2022年度決算案・監査結果

事業活動支出詳細

科目	当初予算	年度末決算額	差異(対予算)	増減
2. 事業活動支出				
事業費支出	14,120,000	14,456,649	336,649	(△)<
会誌発行費 ①	7,800,000	7,177,287	-622,713	(△)<
4DFFジャーナル発行費	100,000	0	-100,000	(△)<
研討・研究会開催費	2,500,000	1,370,315	-1,129,685	(△)<
講習会開催費	1,000,000	1,086,311	86,311	(△)<
試験標準品作製費 ②	700,000	2,017,400	1,317,400	(△)<
出版物作製費	200,000	29,040	-170,960	(△)<
デジタル化費	800,000	997,860	197,860	(△)<
学会賞費	660,000	324,786	-335,214	(△)<
諸委員会費	100,000	6,776	-93,224	(△)<
理事会・評議員会・総会費	50,000	35,301	-14,699	(△)<
国際会議関係支出	0	0	0	(-)-
4 D F F 研究会支出 ③	160,000	1,073,343	913,343	(△)<
公告宣伝費 ④	0	338,230	338,230	(△)<
国際交流支出	50,000	0	-50,000	(△)<
60周年記念支出	0	0	0	(-)-
管理費支出	12,010,000	12,020,519	10,519	(△)<
通信・運搬費	450,000	378,624	-71,376	(△)<
事務費	1,300,000	1,493,239	193,239	(△)<
事務員費	9,800,000	9,696,973	-103,027	(△)<
事務機械化費 ⑤	200,000	328,513	128,513	(△)<
雑費	100,000	63,070	-36,930	(△)<
租税公課	0	600	600	(-)-
管理諸費	60,000	59,500	-500	(-)-
退職給付引当金	100,000	0	-100,000	(△)<
法人税等	70,000	70,000	0	(-)-
その他の事業活動支出	0	-2,790	-2,790	(-)-
事業活動支出計	26,200,000	26,544,378	344,378	(△)<

①会誌発行費62万円減

前年の増頁、増カラーから平年並へ

②試験標準品作製費132万円増

テストチャート

③4DFF研究会支出91万円増

ハイブリッド開催

④広告宣伝費34万円増

コンバーテック出展費用

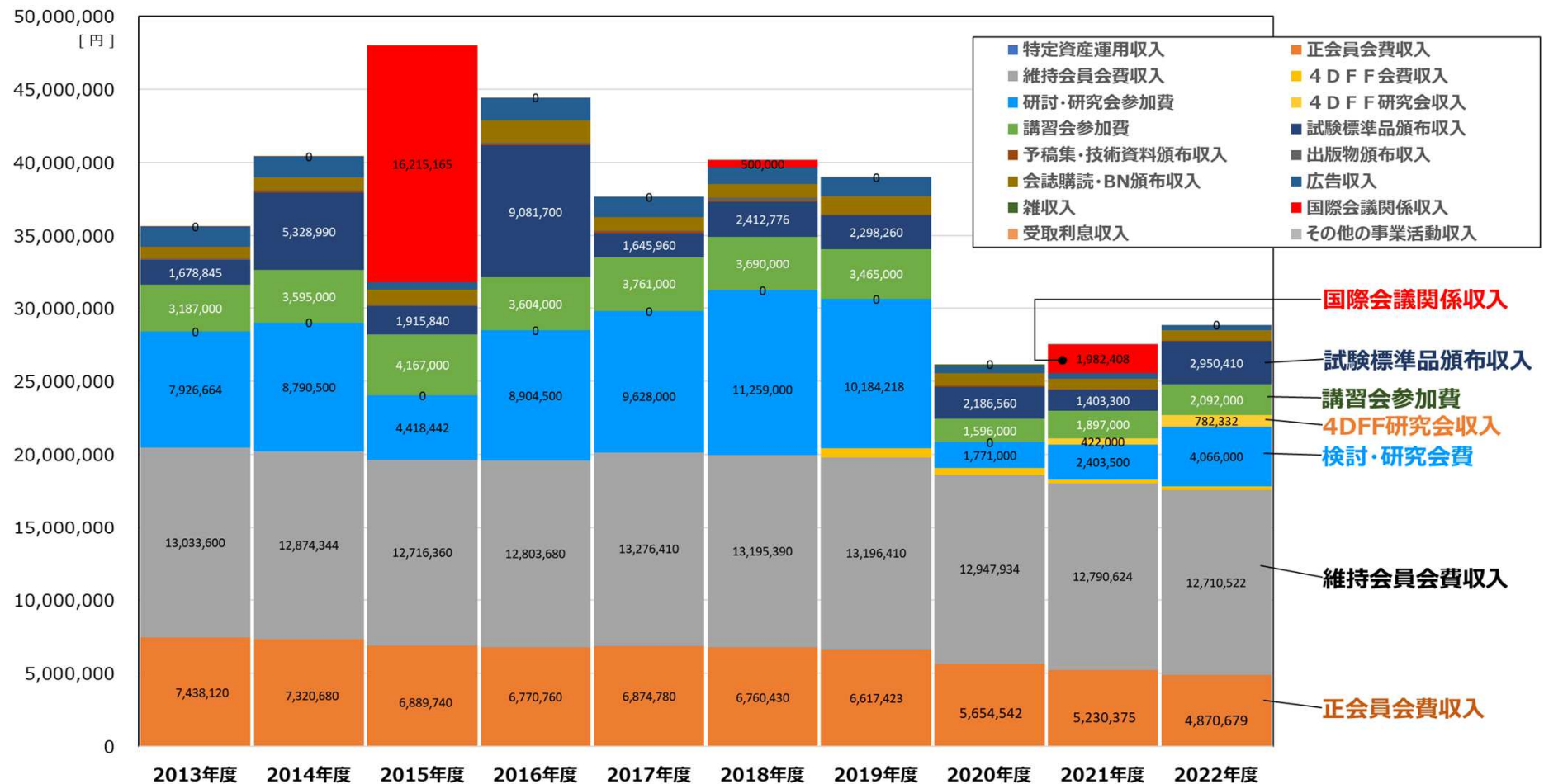
⑤事務機械化費13万円増

PC購入2台

事業活動収支状況

第3号議案
2022年度決算案・監査結果

事業収入の推移

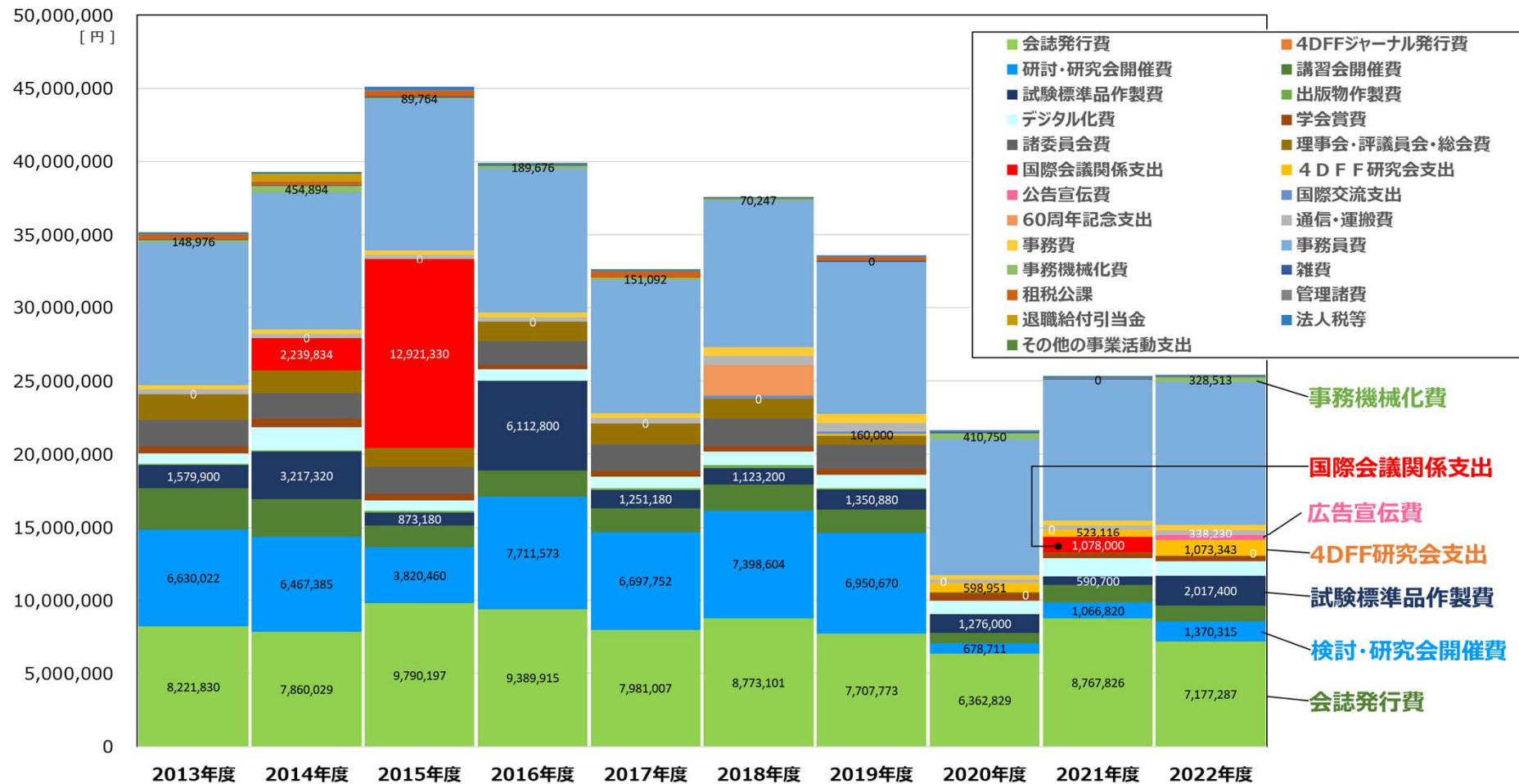


- ・正会員費収入は3年連続落ち込み
- ・研究会、講習会参加費は復調もコロナ前には遠く

事業活動収支状況

第3号議案
2022年度決算案・監査結果

事業支出の推移



・2022年度のイベントは、リモートで開催されるケースが多く、ハイブリッド化で大きく予算を圧迫する傾向は見られなかった。

監事は、2022年4月1日から2023年3月31日までの2022年度の業務及び会計について監査を実施致しました。その結果について次のとおり報告致します。

1. 監査方法の概要

- ・監事は、理事会や重要な会議に出席するほか、日本画像学会の関係者から事業の報告を聴取し、重要な書類の回付を受け学会における業務及び財産の状況を調査致しました。
- ・日本画像学会の関係者および財務委員会から報告および説明を受け、監査委員会を実施し、決算報告書について監査を実施致しました。

2. 監査結果

2. 1 業務監査の結果

日本画像学会の業務については、新型コロナウイルス禍が収束する中、ハイブリッド型イベントの開催にも取り組み、年度計画および事業計画等に基づき適正に運営されていたと認めます。

2. 2 会計監査の結果

2023年5月16日、Web会議にて監査委員会を実施した結果、加川財務委員長より説明があった、2022年度日本画像学会決算報告書(貸貸対照表、正味財産増減計算書、収支決算書、財産目録 他)は、必要な事項を正しく示していると認めます。

2022年6月28日

一般社団法人 日本画像学会監事

中居 達 服部好弘

第3号議案 事前投票結果

第3号議案
2022年度決算案・監査結果

事前投票結果			
	第1号議案	第2号議案	第3号議案
賛成	30	30	30
反対	0	0	0

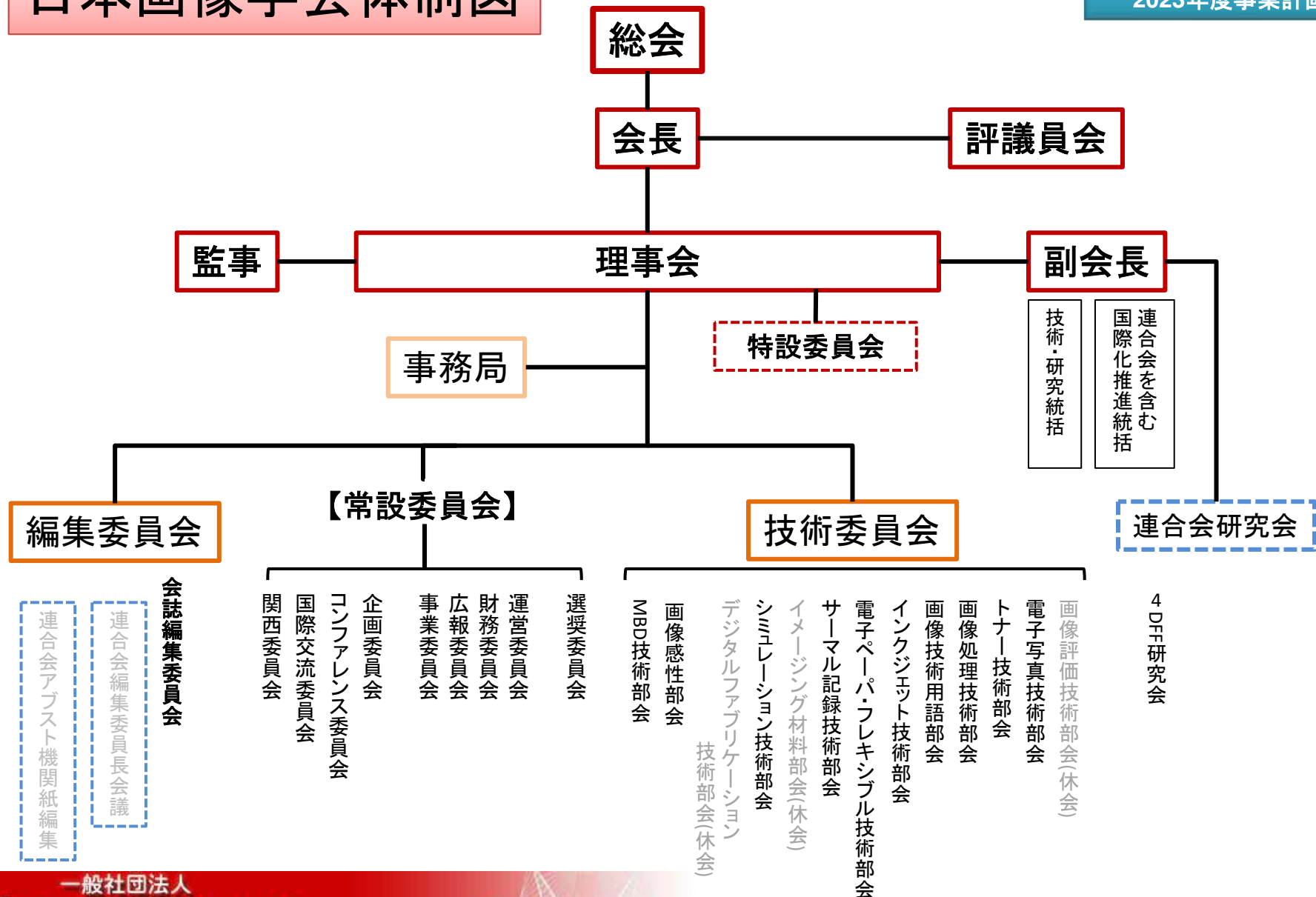
委任先	議長	287
	その他会員	3
	合計	290

2023年度 定時総会 進行次第

(2023年6月28日(水) 13:00～13:50)

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 定足数の確認・報告、議長選出
4. 第1号議案:2023年度役員案(審議・承認) 中山
5. 第2号議案:2022年度事業報告(審議・承認) 中山
6. 第3号議案:2022年度決算案・監査結果(審議・承認) 加川・中居
7. 第4号議案:2023年度事業計画/財務計画/年間予定(報告) 中山・加川
8. 質疑応答
9. 閉会の辞

日本画像学会体制図



第4号議案
2023年度事業計画

会長 佐藤利文

執行部会

副会長 小林範久
藤井雅彦

事務局長: 竹内達夫
運営委員長: 中山信行

赤字: 新任役員

【理事会】

理事(24名, 会長副会長3名)

新井 啓之(日本工業大学)

岩田 基(大阪公立大学)

梅津 信二郎(早稲田大)

加川 哲哉(コニカミノルタ)

北野 賀久(富士フイルムビジネスイノベーション)

坂口 雅敏(ブラザー工業)

高橋 茂樹(山形大学)

寺尾 博年(アルプアルパイン)

中井 洋志(リコー)

橋詰 博徳(ミマキエンジニアリング)

三矢 輝章(東京情報デザイン専門職大)

宮本 篤生(巴川製紙所)

飯野 裕明(東京工業大学)

石本 文治(セイコーエプソン)

面谷 信(東京電機大)

木崎 宏恵(三菱ケミカル)

木下 周三(三菱製紙)

鈴木 健彦(キヤノン)

田中 作白(京セラドキュメントソリューションズ)

直井 宏夫(シャープ)

中山 信行(東京工芸大学)

前田 秀一(東海大学)

宮戸 健志(富士フイルム)

渡辺 猛(東芝テック)

監事

中居 達(王子製紙)

服部 好弘(元コニカミノルタ)

幹事

朝武 敦(コニカミノルタ)

河野 信明(元キヤノン)

宮本 栄一(京セラドキュメントソリューションズ)

山崎 弘(山崎国際コンサルティング)

一般社団法人



日本画像学会

The Imaging Society of Japan

第4号議案
2023年度事業計画

編集委員会

総数22名

画像関連連合会合同誌

委員長: 宮本栄一
副委員長: 名越応昇, 北野賀久
編集幹事: 石塚一輝

連合会編集委員長会議

アブストラクト集編集委員会

赤字: 新任委員長

【常設委員会】

選奨委員会	委員長: 飯野裕明	全4名
運営委員会	委員長: 中山信行	全9名
広報委員会	委員長: 河野信明	全6名
事業委員会	委員長: 木崎宏恵	全15名
財務委員会	委員長: 加川哲哉	全3名
コンファレンス委員会	委員長: 三矢輝章	全8名
企画委員会	委員長: 中井洋志	全9名
国際交流委員会	委員長: 朝武敦	全3名
関西委員会	委員長: 田中作白	全13名
記念出版委員会	委員長: 山崎弘	全1名

一般社団法人

第4号議案

2023年度事業計画

技術委員会

委員長:小林範久
副委員長:藤井雅彦
副委員長:前田秀一

総数119名

画像評価技術部会(休会中)	主査:-	
電子写真技術部会	主査:吉田 健	全14名
トナー技術部会	主査:多田達也	全13名
画像処理技術部会	主査:新井啓之	全6名
画像技術用語部	主査:坂谷一巨	全12名
インクジェット技術部会	主査:藤井雅彦	全16名
電子ペーパー・フレキシブル技術部会	主査:吉田 学	全10名
サーマル記録技術部会	主査:寺尾博年	全9名
イメージング材料部会(休会中)	主査:-	
シミュレーション技術部会	主査:門永雅史	全13名
デジタルファブリケーション技術部会(休会中)	主査:-	
画像感性部会	主査:鎰谷賢治	全14名
MBD技術部会	主査:山岸義弘	全12名

赤字:新任委員長/主査

3-1 編集委員会

2023年度活動計画

■組織

- ✓ 編集委員会
 - ・定期委員会開催（年6回）
 - ・学会誌編集，校正
 - ・査読マニュアルの整備継続
- ✓ 査読体制の強化の継続
 - ・主に技術・学術面と，主に体裁・要件を審査する2名査読者体制継続
 - ・技術面の査読候補者の拡充
 - ・執筆要項，査読マニュアルの改訂
- ✓ 会誌電子配信の充実継続
 - ・海外在住会員，シニア・学生会員
- ✓ 学会内他組織との連携
 - ・ICJ実行委員会との連携継続
 - ・4DFF論文誌発行協力の継続

■学会誌

- ✓ 年6冊の定時発行
 - ・ICJ発表からの論文勧誘の促進継続
 - ・年1回の英文クラスタ論文特集号
 - ・特集記事（IT/AT）の充実
 - ・Imaging Highlight，教育講座，研究室訪問の掲載を継続

■その他の活動

- ✓ フリートーキング開催
 - ・第42回，第43回を企画，開催予定
- ✓ ICJ編集委員長賞，学会誌論文賞

3-2 技術委員会 2023年度活動計画

新領域開拓・・vision2030見直し・実行, 部会ミッション遂行, 部会の縦
(掘下げ)横(相互展開)展開,

技術研究会の開催

技術交流会の推進

書籍:「画像処理」「有機半導体」の出版

ICJ2023 オーガナイズドセッション(部会企画)開催

活動予定

- ・主査会議、技術委員会総会の開催
- ・他学会/組織とのコラボ企画(予算建て含めて)
- ・技術講習会(春・秋)、関東・関西シンポジウムへの協力
- ・第4回複写機遺産認定事業

3-3 企画委員会

2023年度活動計画

◆ イメージングカフェ

- 1回/2ヶ月のペースで開催予定
- 2023年度中に第100回を迎えるためスペシャル企画を予定
- 引き続きオンライン形式をベースとするが、リアル開催が可能となった場合はハイブリッド形式に移行

◆ 2023年度シンポジウムの企画運営

- 各技術部会による一年間の振り返りと、近年の技術トピック紹介を主とした内容で12月に開催予定

3-4 コンファレンス委員会

2023年度活動計画

■ 2023年 年次大会 (Imaging Conference JAPAN 2023:ICJ2023)

[日本画像学会研究討論会(第131回): 日本画像学会年次大会]

- ・ <計 画> 開催日:2023年6月28日(水)~30日(金)(Hybrid形式) 会場:千葉大学 けやき会館を中心 学振: 研究拠点形成事業の国際セッションを設ける
- ・ <実行委員長> 千葉大学:小林範久 副会長にお願いする
- ・ <改 革> 昨年より難度の高いHybrid形式における学会実行委員制を試行
- ・ <コンセプト(スローガン)> 画像が拓く豊かな共奏社会の創造(Enriched Synergic Society Powered by Imaging) 考え方はICJ2022を引継ぐため同じとする
- ・ <発表申込数> 51件 <目標> 発表数66件、参加者数:140(会場)100(オンライン)

3-5 事業委員会

2023年度活動計画

■ これからも若手／中堅技術者育成に繋がる活動を行います！！

➤ 第87回技術講習会 2023年7月3日（月）～7日（金）

サブタイトル 未定

- ・ハイブリッド開催を予定（リアル会場は「ユニコムさがみはら」）
- ・『基礎知識の習得と深化』で実務に直轄できるプログラム作り、講習内容の充実
- ・中堅者を対象とした技術動向、将来技術展望、展示会社イベントも盛り込む
- ・各社、各大学におかれましては、講師の派遣協力をお願いいたします（講師依頼中）
- ・シミュレーション講習も開催予定（シミュレーション部会と連携）

➤ チュートリアル2023 2023年11月～12月に開催予定

- ・講師と直接議論しながらの特別セッション
- ・『電子写真技術』、『インクジェット技術』、『画像技術マーケット動向』の3分野での実施を検討中
- ・開催方法 検討中

2023年度 財務計画

財務委員会



2023年度予算編成方針

- ✓ 2023年度は、2022年度実績をモデルとし、対面イベント再開に伴うハイブリッド開催増も考慮し、費用の抑制が可能な科目を実態に合わせる形で予算の見通しの効く予算編成とした。
- ✓ 社会状況に合わせたオンライン化は、新型コロナ感染対策の意味だけでなく、主催者、参加者共に多くのメリットのある手段として、今後も継続していくと思われる。
- ✓ 事業収入の部では、会費収入の漸減傾向を反映した。研討・研究会参加費、講習会参加費は対面併用も含め収入増とした。しかしながら会費収入減は、将来の学会運営に支障をきたす問題であり、今後議論を進めていく。
- ✓ 事業支出出部では、オンライン利用で減少した会場費、会議費、運搬費等をハイブリッド開催も考慮して2022年の実績よりやや多く計上した。
- ✓ 会誌発行費については、諸物資高騰の動向を反映し増額計上した。
- ✓ 以上を盛り込み、2023年度は、収入額を対前年より低めの2661万円、収支差額88万円の赤字予算編成とする。

財務委員会

第3号議案
2022年度決算案・監査結果

収支予算概要

科 目	23年度当初予算	22年度決算	22年度当初予算	22予算との差異
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
特 定 資 産 運 用 収 入	2,500	587	2,500	0
会 費 収 入 ①	17,550,000	17,838,561	18,450,000	-900,000
事 業 収 入 ②	9,060,000	11,004,042	8,760,000	300,000
受 取 利 息 収 入	0	257	0	0
そ の 他 の 事 業 活 動 収 入	0	30,083	0	0
事業活動収入計	26,612,500	28,873,530	27,212,500	-600,000
2. 事業活動支出				
事 業 費 支 出 ③	15,110,000	14,456,649	14,120,000	990,000
管 理 費 支 出	12,310,000	12,020,519	12,010,000	300,000
法 人 税 等 支 出	70,000	70,000	70,000	0
そ の 他 の 事 業 活 動 支 出	0	-2,790	0	0
事業活動支出計	27,490,000	26,544,378	26,200,000	1,290,000
事業活動収支差額 ④	-877,500	2,329,152	1,012,500	-1,890,000

① 会費収入漸減傾向を反映

② 事業収支は新規出版の学会負担を反映

④ 収支上は88万円の赤字予算

財務委員会

第3号議案
2022年度決算案・監査結果

事業収入詳細

科 目	23年度当初予算	22年度決算	22年度当初予算	22予算との差異
1. 事業活動収入				
特 定 資 産 運 用 収 入	2,500	587	2,500	0
会 費 収 入	17,550,000	17,838,561	18,450,000	-900,000
正 会 員 会 費 収 入	5,000,000	4,870,679	5,600,000	-600,000
維 持 会 員 会 費 収 入	12,500,000	12,710,522	12,800,000	-300,000
4 D F F 会 費 収 入	50,000	257,360	50,000	0
事 業 収 入	9,060,000	11,004,042	8,760,000	300,000
研 討 ・ 研 究 会 参 加 費	4,500,000	4,066,000	4,400,000	100,000
講 習 会 参 加 費	2,200,000	2,092,000	1,800,000	400,000
試 験 標 準 品 頒 布 収 入	1,500,000	2,950,410	1,500,000	0
予 稿 集 ・ 技 術 資 料 頒 布 収 入	50,000	45,160	50,000	0
出 版 物 頒 布 収 入	10,000	0	10,000	0
会 誌 購 読 ・ B N 頒 布 収 入	300,000	738,140	500,000	-200,000
広 告 収 入	500,000	330,000	500,000	0
雑 収 入	0	0	0	0
国 際 会 議 関 係 収 入	0	0	0	0
4 D F F 研 究 会 収 入	0	782,332	0	0
受 取 利 息 収 入	0	257	0	0
そ の 他 の 事 業 活 動 収 入	0	30,083	0	0
そ の 他 の 事 業 活 動 収 入	0	30,083	0	0
事業活動収入計	26,612,500	28,873,530	27,212,500	-600,000

- ① 会員数の減少歯止めと維持会員口数維持を期待
 ② 研究会と講習会のオンライン及びハイブリッド開催を想定
 ③ 標準キャリア頒布のみに戻る

一般社団法人



日本画像学会

The Imaging Society of Japan

財務委員会

第3号議案
2022年度決算案・監査結果

事業支出詳細①

科 目	23年度当初予算	22年度決算	22年度当初予算	22予算との差異
2. 事業活動支出				
事業費支出	15,110,000	14,456,649	14,120,000	990,000
会誌発行費 ㉠	7,000,000	7,177,287	7,800,000	-800,000
4 D F F ジャーナル発行費	100,000	0	100,000	0
研討・研究会開催費	2,000,000	1,370,315	2,500,000	-500,000
講習会開催費	1,000,000	1,086,311	1,000,000	0
試験標準品作製費	350,000	2,017,400	700,000	-350,000
出版物作製費 ㉡	2,000,000	29,040	200,000	1,800,000
デジタル化費	800,000	997,860	800,000	0
学会賞費	660,000	324,786	660,000	0
諸委員会費	100,000	6,776	100,000	0
理事会・評議員会・総会費	50,000	35,301	50,000	0
国際会議関係支出	0	0	0	0
4 D F F 研究会支出 ㉢	1,000,000	1,073,343	160,000	840,000
公告宣伝費	0	338,230	0	0
国際交流費	50,000	0	50,000	0
60周年記念支出	0	0	0	0

㉠会誌発行費年6回発行、22年度実績より減額

㉡新規出版の学会費負担金を反映

㉢22年度実績を踏まえて増額

財務委員会

第3号議案
2022年度決算案・監査結果

事業支出詳細②

科 目	23年度当初予算	22年度決算	22年度当初予算	22予算との差異
2. 事業活動支出				
事業費支出	15,110,000	14,456,649	14,120,000	990,000
管理費支出	12,310,000	12,020,519	12,010,000	300,000
通信運搬費 ①	450,000	378,624	450,000	0
事務費	1,500,000	1,493,239	1,300,000	200,000
事務員費 ②	9,800,000	9,696,973	9,800,000	0
事務機械化費	400,000	328,513	200,000	200,000
雑費 ③	100,000	63,070	100,000	0
租税公課	0	600	0	0
管理諸費	60,000	59,500	60,000	0
退職給付費用	0	0	100,000	-100,000
法人税等支出	70,000	70,000	70,000	0
その他の事業活動支出	0	-2,790	0	0
事業活動支出計	27,490,000	26,544,378	26,200,000	1,290,000
事業活動収支差額	-877,500	2,329,152	1,012,500	-1,890,000

- ①通信運搬費 対面/オンライン併用あり想定
 ②事務員費 対面イベント増に備える
 ③雑費 新型コロナ対策費等

財務委員会

第3号議案
2022年度決算案・監査結果

投資活動、財務活動収支

科 目	23年度当初予算	22年度決算	22年度当初予算	22予算との差異
Ⅱ 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
投資活動収入計	0	0	0	0
2. 投資活動支出				
特定資産取得支出	0	0	0	0
器具備品取得支出	0	0	0	0
器具備品購入支出	0	0	0	0
投資活動支出計	0	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0	0
Ⅲ 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	0
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0	0
当期収支差額	-877,500	2,329,152	1,012,500	-1,890,000
前期繰越収支差額	34,797,153	32,468,001	32,468,001	2,329,152
次期繰越収支差額	33,919,653	34,797,153	33,480,501	439,152

2023年度 定時総会 進行次第

(2023年6月28日(水) 13:00～13:50)

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 定足数の確認・報告、議長選出
4. 第1号議案:2023年度役員案(審議・承認) 中山
5. 第2号議案:2022年度事業報告(審議・承認) 中山
6. 第3号議案:2022年度決算案・監査結果(審議・承認) 加川・中居
7. 第4号議案:2023年度事業計画/財務計画/年間予定(報告) 中山・加川
8. 質疑応答
9. 閉会の辞

【事前投票でのご意見・ご要望】

■ 学会運営

- ✓ 学会を通して様々な分野の方との意見交換、もしくはディスカッションの場を設けていただき誠にありがとうございます。引き続き何卒よろしくお願い致します。
- ✓ 会員数が激減している事に対して、理由を明確に調査して、具体的な施策をとって欲しい。
- ✓ 会員数を増やす施策を行ったほうが良いと思います。例えば、年次大会のプログラムを見たのですが、電子写真関連の発表件数を増やさないと主たる会員が属する会社が学会参加させるモチベーションが得られないと考えますが、いかがでしょうか？ 年次大会の運営方法が変わり、発表件数が大幅減の様に推察します。幹事会社が主に運営する以前のやり方が良かったかどうか分かりませんが、一度振り返ってみる機会かもしれません。既に転職しており、電子写真関連の業務に就いておりませんが、残念でなりません。皆様、頑張ってください。
- ✓ いつもお世話になっております。画像技術の進歩と発展のためのご尽力、感謝申し上げます。
- ✓ 新規技術、成熟技術 それぞれに対する課題を見つけ出してください。若手の参加推進を願います。
- ✓ 今後の活発な活動を期待します。
- ✓ 魅力的なイベントを行い、会員の減少を食い止めること。
- ✓ 会員証を紙ペラからプラ仕様など画像学会にふさわしいカードにして欲しいです。
- ✓ できれば、産業界(中小企業・ベンチャー企業など)と貴学会関係の接点を増やして欲しいです。

【事前投票でのご意見・ご要望】

■ 企画

- ✓ イベントでのオンライン参加の選択肢は継続いただくようお願いします。
- ✓ 次のテーマ(記録技術)を考えるという意見交換を設けてほしい。オープン参加型で。

■ 学会誌

- ✓ 日本画像学会誌がScopusに収録されるよう、申請の検討をお願いしたいと思います。

■ そのほか

- ✓ 学会HPフェロー紹介ページにある長山さん記載箇所の「勘康太」は「感光体」ではないでしょうか。修正ください。＊久しぶりにHPを見て気がつきました。

2023年度 定時総会 進行次第

(2023年6月28日(水) 13:00～13:50)

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 定足数の確認・報告、議長選出
4. 第1号議案:2023年度役員案(審議・承認) 中山
5. 第2号議案:2022年度事業報告(審議・承認) 中山
6. 第3号議案:2022年度決算案・監査結果(審議・承認) 加川・中居
7. 第4号議案:2023年度事業計画/財務計画/年間予定(報告) 中山・加川
8. 質疑応答
9. 閉会の辞